

風のように

甘木教会



主任牧師：白川道生

牧会委嘱牧師：竹田孝一

主に不可能なことがあろうか。来年の今ごろ、わたしはここに
戻ってくる。そのころ、サラには必ず男の子が生まれている。

創世記18:14

主はお答えになった。「マルタ、マルタ、あなたは多くのことに
思い悩み、心を乱している。しかし、必要なことはただ一つ
だけである。マリアは良い方を選んだ。それを取り上げてはな
らない。」

ルカによる福音書10:41～42

【説教要旨】

「さすらいの旅人」であるイスラエル人は、古くから一つの
生き方を持っていました。それは、旅人をもてなすことは人間
として当然の義務であっただけではなく、同時にそれは特権で
もあり、たまたま見知らぬ旅人をもてなす機会を得たイスラエ
ル人は、これを神からの祝福として受けとめました。この故事
が今日のイサク誕生の預言です。

主に不可能なことがあろうか。来年の今ごろ、わたしはここに
戻ってくる。そのころ、サラには必ず男の子が生まれている。

アブラハムとサラの間に待ちに待ち、二人が年老いて諦めて
いたところに男子、イサクが生まれるという祝福が与えられた
のです。

福音書で、マルタ、マリアの二人の姉妹が出てきます。

主はお答えになった。「マルタ、マルタ、あなたは多くのことに
思い悩み、心を乱している。しかし、必要なことはただ一つ
だけである。マリアは良い方を選んだ。それを取り上げてはな
らない。」

というイエスさまのお言葉から、私たちは何よりもイエスさまのお言葉を聞いていたマリアの態度をイエスさまから褒められ、忙しく動き回っているマルタの行動は間違っていると受けとめがちです。はたして、そうでしょうか。

わざわざ第一日課が創世記の旅人をもてなす記事が選ばれているということは、旅人であるイエスさまと弟子たちをもてなすマルタの行為は決して、非難されるべきことではなく、むしろ、この姉妹にとっては祝福を受ける行為であったと思います。事実、彼女らの兄弟であったラザロは、死から命へとイエスさまによって、助けられ、大いなる祝福を得ました。彼女は故事にのっとり、旅人をもてなせという律法を忠実に守った立派なことでした。しかし、イスラエル人としての姿勢、そして行為を根拠として、『主よ、わたしの姉妹はわたしだけにもてなしをさせていますが、何ともお思いになりませんか。手伝ってくれるようにおっしゃってください。』とイエスに願うこの言葉にマルタが忘れていたものがあつたのです。森司祭は次のように言っています。

「マルタがとがめられたのも、愛についてではないでしょうか。マルタのまちがいは、イエスの足下にすわって、その言葉に耳を傾けるマリアの心を理解しなかったことだと思います。マリアは精神的に飢え、渴いていたのかもしれないのです。その心は切実に救いを求め、叫んでいたのかもしれないのです。イエスのことばに心を開くことは、マリアの救いにかかわるほど、だいじなことであつたかもしれないのです。マルタにはマリアの心を思いやるあたたかさが、欠けていたのではないのでしょうか。」

先週の善きサマリア人の譬から流れているイエスさまからのみ言葉は、『心を尽くし、精神を尽くし、力を尽くし、思いを尽くして、あなたの神である主を愛しなさい、また、隣人を自分のように愛しなさい』という律法が、神を、人を愛する人は神を知ることと教えているということであり、愛あるところに、神がおられるのです。

たとえ、人々の異言、天使たちの異言を語ろうとも、愛がなければ、わたしは騒がしいどら、やかましいシンバル。たとえ、預言する賜物を持ち、あらゆる神秘とあらゆる知識に通じていようとも、たとえ、山を動かすほどの完全な信仰を持っていようとも、愛がなければ、無に等しい。全財産を貧しい人々のために使い尽くそうとも、誇ろうとしてわが身を死に引き渡そうとも、愛がなければ、わたしに何の益もない。・・・・・・・・それゆえ、信仰と、希望と、愛、この三つは、いつまでも残る。その中で最も大いなるものは、愛である。

第1コリント人への手紙13：1～13

パウロが語るこの言葉をマルタは忘れていたのかもしれませんが。また、私たちもしばしば陥ることです。森司祭は次のように私たちに言われます。

「マルタはこういうべきだったでしょう。『マリア、あなたが求めている方がおいでになった。この時間を大切にしてください。思う存分自分の飢え、渇きをイエスさに訴えなさい。わたしのことは、心配しないで、イエスさまへのもてなしは、私一人でも十分できますから』

ともに生活する人々の心のうちを理解し、それを包む、いたわりの心、愛こそ、マルタだけでなく、すべての人間にとってもっとも大切なものではなでしょうか」

私たちは、精神的に飢え、渇き、心は切実に救いを求め、叫んでいるマリアも、マリアの心を思いやるあたたかさが欠けていたマルタも、私たちであるということです。一行が歩いて行くうち、イエスはある村にお入りになったとあるように、私たちの所にも訪ねてくださり、私たちをも祝福してくださいます。救いを求めている私を、愛に欠けている私を愛してくださる旅人であるイエスが今日も訪ねてくださる。必要なことはただ一つだけである。イエスが、私の所に訪ねていて下さるということです。安心していきましょう。イエスさまが訪ねてくださいます。

牧師室の小窓からのぞいてみると

今日は良識府の参議院投票日です。その結果によっては日本の歩みが大きく変化していきます。世界も大きく変化していくとき日本だけがそうはいかないでしょうが、気になるのは、嘘の情報が SNS を通して流され、選挙に影響を与えるということです。また、こんな主張の党がと思う党が支持され議席を得ようとしていることです。目に余るこれがという人の立候補です。

これは良心の欠如だと思います。自由の下で何をしていても良いという権利を行使してよい、それが技術の発展、とくにインターネットの発展が、それを加速しているように思えます。

ルターは、良心を神に縛られると言います。しかし、人間はもはや神を必要としなくなり、良心は消えていっているのです。

だからこそ、私たちは愚かと言われようが愚直に神を伝えていくことが、大切になってきています。

園長・瞑想？迷走記



幼稚園も一学期が終わろうとしている。ある時、学期の反省を含めて職員会議をした。若い先生方が保育に真摯に向かっている姿に感動を覚える時間であり、本当に良い先生を幼稚園にお迎えできたと感謝で一杯だった。

一人の先生が、子どもらが成長と共に、他の子どもらが見えてきた分、「A 君はらんぼうだ」とか、「・・・」だと批判し始めた。悪口に近い、レッテルはりが始まったという。

子どもたちの成長を認めた上で、これではいけないので、二学期から「〇〇君の良いところ探しをクラス会のたびにしたい」と報告されたことを思い出す。

「キリスト教保育 7月号」に『少女パレアナ』からヒントを得た『よかった探し』のゲームの話があった。どこにもある話だが、意外と心持を変えてくる動機づけになる。「毎月の会計をしめていくのは面倒くさいが、でもその陰で幼稚園の会計の仕組みが分かってきた。よかった。」と良かった探しをすると面倒くさい会計の処理も楽くなる。

日毎の糧

聖書：主よ。だれが、あなたの幕屋に宿るのでしょうか。
だれが、あなたの聖なる山に住むのでしょうか。



詩編 15 : 1



ルター言葉から

信心深い人の試練は非常に有益で、肉や血にとってもっとも正しい修練である。試みられない人は何も知らない。全詩篇は、それぞれの詩句が試練、苦難、禍しかなく、試練に満ちた書である。

『卓上語録』M.ルター著、植田兼義訳、教文館

信頼

左近先生は「宿る」を「食客」と訳しています。また「住む」という訳を「宿りうる」と訳し、月本先生は「留まる」と訳している。月本先生は、「住む」とも訳せるが原意は、「身を置く」こと。「身を寄せるの」の類義語だといわれます。

「宿りうる（シャーカン）はヤーシャプ（住む）のように恒久的に永住することではなく、天幕を張り、一時的に宿泊することである。これらの二つの動詞は神の現臨の場における信仰者の在り方を暗示している。聖所に入ること、教会にあることは『焼きつくす火の中におる』（イザヤ 33 : 14）ことである。照り輝きと恐れおののきのうちに〈客となる〉のであって腰をあたためて、平然とした在り方とはおよそかけ離れた在り方である。（詩篇研究 左近淑 新教出版）」①

私たちは、教会へ行くとき、私たちの平安をもとめていきます。しかし、教会へ行くことは、神によって自分自身が焼かれ清められるという恐れとおののきです。『焼きつくす火の中におる』試練を経ます。試練こそ、私たちが清められ、教会に入る前の自分と、入ったの自分を変えられていく厳しくもあり、厳しさに神の強さをいただくのです。試練にあることこそ、幕屋に宿ることであり、聖なる山に住むことです。

祈り：神に焼き尽くされ日々新たに変わられていくものとなりますように。

甘木通信

仏法を探す人に遠くからでも見える、そんな大きな
山になりたい」



北米曹洞宗のトップに就いた初の米国人禅僧・

ルメ大岳(朝日新聞2010年6月30日)

ルメ大岳さんのお父さんは元任地、名古屋教会の宣教師であつた。引退した後も名古屋ルーテル幼稚園の園児らと遊び、日課は毎朝、園児を門の前で迎えていた。私の在任中、お嬢さんの娘さんの息子さん、ルメ先生のお孫が通っていた。ルメ家の家族は、ルーテル幼稚園を愛していた。

ルメ先生が天に帰り、その葬儀はいまでも目に焼きついている。真っ赤なバラで飾られた祭壇のその美しかったこと。元同僚の宣教師の葬儀説教に比べ、親族代表して僧服のルメ大岳さんが話したとき、死の意味、生きる意味が参列者に染みとおるように入っていった。一言つぶやいた「感動」。

そんなことがあり、気になって、妹さんにお兄さんは元気ですかといつも聞いていた。

本名デビッド。「大岳」の名前は得度式で授かった。「仏法を探す人に遠くからでも見える、そんな大きな山になりたい」身の丈195センチの禅僧は「もっと大きく」と願う

「北米曹洞宗のトップに就いた初の米国人禅僧 ルメ大岳」と記事が目にはいった。父はキリストを探す人に遠くから見える、そんな大きな山であつた。息子さんの姿を見て、ルメ先生はどう思っているだろうか。

信徒さんと禅の話をしたとき10年前の出来事を思い出した。不思議な縁である。

(甘木日記)土) 今週も松崎保育園へ「キリスト教保育」について話に行く。その後、甘木教会へ。日) 礼拝が終わり、インドネシアの青年が成人式を迎えてみんなで祝う。幼稚園の保育スケジュール変更する。月) 早朝に行き、朝バスの添乗、・・・と忙しい。心を失わないように。火) 朝から夜まで時間に余裕がない。水) 日善幼稚園の終園日礼拝。夏休みの準備の職員会議、羽村幼稚園の zoom 会議。木) 日善幼稚園がキャンプで、松崎保育園、甘木教会に行けずいた。夜は職員室でごろ寝。金) 雨、二日目のキャンプ。よく付き合える。明日は甘木教会でキリスト教講座。

おまけ・牧師のぐち（続日記）牧師だって神さまの前でぐちります。ぐちらない聖人（牧師）もいます。



土）今週も松崎保育園で「キリスト教保育」について話す日である。先週のようにひと電車間違わないように出かけるが、携帯を忘れる。話が終わり、妻は甘木教会に、私は自宅に戻る。博多山笠を見に行く予定だったが、少し休んで甘木に行く。久留米は

大雨だったが甘木は降っていない。主日礼拝の準備。日）いつものように早朝から庭の掃除、教会の前の道路の掃除、木の剪定と汗だらだらでシャワーを浴びながら洗濯。今日はインドネシアの青年の成人式のお祝いの礼拝。礼拝後はゆったりしているとスコールのような激しい雨。雨が止むのを待って、帰宅。教会内での禪実行者といえど門脇神父。名古屋時代、私の教会の宣教師の息子が禪の坊さんになっていた。その父の葬儀の挨拶は穏やかさ、聖壇は宣教師が好きだった赤いバラで清楚に飾られていたことを思い出す。清き風が吹いていた。今は、彼は曹洞宗北米国際布



教総監部総監。羽村幼稚園の試算表の作成するように資料とメールを送る。日善幼稚園では職員が休むというので今週の保育スケジュールを変更作業。午前2時を越す。本当に大学病院に通っている病人なのか、最後の蝋燭の灯なのか。月）5時に起きて気づく。忙殺されて本を読んでいない。心が枯れていく。一番に幼稚園に行き、保育室など準備。通園バスに乗る。火）サツ

マイモの茎をとって、興味のある子どもらと皮むきをする。せっかくだからきんぴら風の芋のくきの料理をするために調味料を調達し、作る。忙中閑ありである。水）日善幼稚園の終園日礼拝だが、松崎保育園には夏休みはほとんどない。ここに保育園と幼稚園の違いだが、幼稚園も預かり保育があり、盆休みのみ。しかし、保育のようになるは近い。夏休みの準備の職員会議、羽村幼稚園の zoom 会議。幼稚園、保育園とは？その中のキリスト教保育とは。ごまかさずに理想を追いたい。愛知県の理想を追っている「森のたんけんたい」は7年間で40人から8人になったという危機にある。木）日善幼稚園キャンプ。職員が急遽休み、職員が足らなくなり、松崎保育園の聖書の学び、甘木教会の留守番をキャンセル。保育園、教会には申し訳なかったが協力をいただき感謝。金）雨、キャンプ最終日。雨を楽しみ疲れるまで子どもらと遊ぶ。よく動ける。